## HIGUCHI DX





### 会社案内

創業 1937年 (昭和12年)

創立 1963年 (昭和38年)

生産拠点 日本、アメリカ、中国、メキシコ

深絞り加工を得意とし、シートベルトやエアバッグなど の自動車の安全部品を中心に、精密板金プレス製品を 製造している会社です。











プレス加工



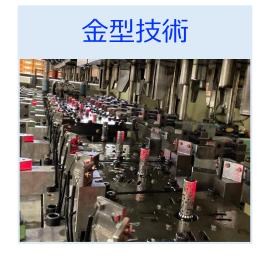
金型設計・製作



設備設計・製作

### 次世代へ「ものづくり」を継承する







#### デジタル技術導入理由・・・・

人手不足、物価上昇、働き方改革、技術伝承、 生産年齢人口減少、海外への人材流出・・・

## 2018年からデジタル技術の積極導入



## ブリッジエンジニア選任



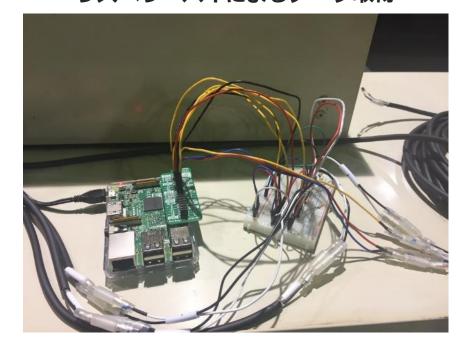
### デジタル技術の導入に際し

#### 取り組みのスタートは・・・工作レベル

工作機械のシグナルタワーに光センサー



ラズベリーパイによるデータ取得





# 「使えない」



### デジタル技術の導入に際し



#### 使えない・・・

改めてデータで見せられなくて も現場にいれば稼働状況ぐらい 認識しています。 それよりも稼働率を上げるため の停止要因の情報が欲しい。



#### 要件定義の重要性

使って欲しいシステムよりも、 使いたいシステムを作る必要が ある。そのためには現場課題の 本質を見極め、要件定義に重点 を置く必要がある。

#### 失敗の最大の要因は、現場の意見を汲み取れなかったこと

現場を巻き込んで一緒にシステムを作る。

業務知識を持つたデジタル人材の育成が必要と判断。



### デジタル技術の導入に際し

現場とシステム開発の橋渡しができる人材

### ブリッジエンジニア



システム開発



現場の課題





現場の困り事の本質を見極めることができる

業務知識

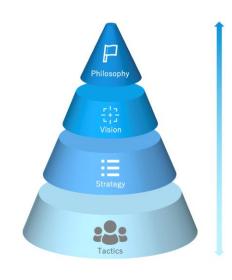


IT技術を使った課題解決のアイデアが出せる

IT 知識



### ブリッジエンジニアの育成



#### プロジェクトマネジメントカ

#### テクノロジー理解力

技術について学び、活用する能力

#### 要件定義技術

ユーザーの行動や目的を明確にする

現場課題の本質を見極める力

現場とのコミュニケーション力



プログラミング: 何ができる技術なのかを理解する

情報技術基礎 : システム構成や用語を理解する

ロジカルシンキング : IT エンジニアの思考とコミュニケーション向上

システム開発 : 失敗するシステム開発の原因を理解する



#### 現場を巻き込んで一緒にシステム開発を行う

### ブリッジエンジニアの役割

DX 推進においては、知識・スキルの向上だけでなく、マインドセットを含めたアクションによる、組織変革を行う役割

#### マインド



- 課題解決意識
- ・リーダーシップ
- ・先進テクノロジー活用
- 変革思考

#### スキル



- ・テクノロジーの理解
  - ・テクノロジーの活用
  - ・IT による高度化を知る
  - ・IT による効率化を知る

#### アクション



- アイデア出し
- ・新しい技術を業務に使う
- ・他部署を巻き込む
- ・共有して効果を広げる

#### 自社の業務知識・業務課題の理解

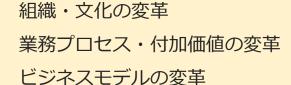


### 当社のDX定義

#### IT化とDX

デジタル化(≒IT化)

○○ソフトを使って業務を効率化 データの見える化 クラウドで情報共有 トランスフォーメーション (変化)





ITツールによる業務効率化

組織文化・意識の変革

競争力強化

# 事例紹介



### Check Master 紹介動画





#### Check Master 概要





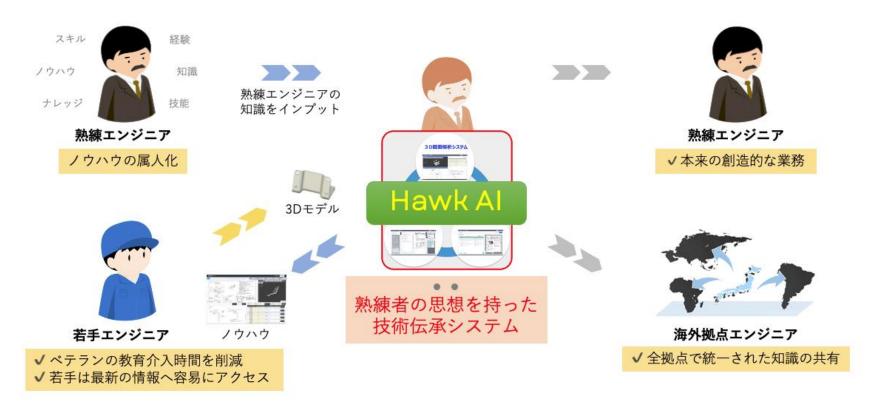
サーバーが「正しい状態」と判断した時のみ

設備稼働が可能



#### Hawk AI 概要

#### 属人化したノウハウの 属システム化 : 熟練エンジニアが持つノウハウを社内共有



熟練者の考え方・思想をAIに学習させ、若手エンジニアはシステムから出力される最適解を元に業務を円滑に推進。熟練エンジニアは、本来のクリエイティブな業務へ従事できます。

特許出願中 特願 2023-083246

12

# 成果



#### DX関連活動受賞/掲載履歴

2021年 中小企業モノづくり白書掲載 〈経済産業省·厚生労働省·文部科学省〉 2022年 DXセレクション優良事例選出 〈経済産業省〉 2022年 全国中小企業クラウド実践大賞『全国中小企業団体中央会会長賞』受賞 〈総務省〉 2023年「デジタルガバナンス・コード実践の手引き2.0」掲載 〈経済産業省〉 2023年「中小企業・小規模事業者の人材活用事例集」掲載 〈中小企業庁〉 2024年 DX認定 取得 〈経済産業省〉



















#### 取り組みの成果

#### 職場ごとの困り事を独自で分析し、改善の取り組みを推進

















© 2025 株式会社 樋口製作所

KPI ⇒ 見える化



#### ものづくり+コトづくり

#### 弊社の課題は全ての製造業でも抱えている課題との認識から、 実際の製造現場でのPoCを完了したソリューションのサービス化







## 今後の取り組み



16

### スマート工場を目指して

#### 弊社が考える「スマート工場」は、無人化や見える化ではありません。

知識の共有と拡充

従来の無人化された工場のイメージとは異なり、情報共有と知識 共有のプラットフォームを構築することで、**従業員へのインプッ** ト量を圧倒的に増やしています。

情報共有による イノベーション 情報とノウハウが全社員で共有できる環境を作り出すことで、新たなアイデアやアプローチが生まれ、**効率的かつ創造的なプロセスやシステムが生まれ**、品質と生産性が向上しています。



### AI の可能性と限界

#### AIの活用による「ものづくり」の進化に取り組んでいます。 プライベートLLMの開発

01

人手不足対策

製造・品質管理・保全などの管理者に代わる「AI マネージャー」の開発を進めています。当社の膨大な生産関連データを学習した AIが、管理者に代わり分析とアドバイスを実行します。

02

生産性の向上

「AI マネージャー」が当社の生産関連データを基に、生産性向上につながる生産・品質・保全などに関する傾向や注意点・改善ポイントを指示・提案してくれます。



### Lai-ser 紹介動画





#### DXはバズワード







## 次世代に継承できるモノづくり企業を目指します!







### ありがとうございました

Technology Anticipating the Future

